

# FURUTECH

## Review

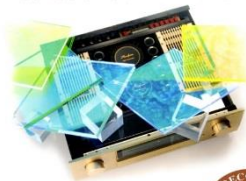
Audio Accessory

2015 WINTER 159 - JAPAN

Audio Accessory 季刊オーディオアクセサリ

年末特別号  
AEX

最高權威の2大アワード、発表！  
能力特選 ハイレンジからアナログまで幅広く  
新製品大スクランブルテスト



2015 WINTER 159



アクセサリ銘機賞 特別賞に輝く

# NCF 採用の 電源アクセサリを聴く

フルテックより人気の電源アイテムが、注目の新素材NCFを採用することで、異次元のグレードアップを果たした。NCFは制振対策と共に静電気対策効果もある画期的な素材として、同社の新たな壁コンセント「GTX-D NCF(R)」をはじめ、電源パーツを中心に採用されはじめ、今後も同社の様々な製品に採用を予定している。これを受けて、本年度の「オーディオアクセサリ銘機賞2016」では、このNCF素材を採用したアイテムに対して「特別賞」の受賞を果たした。そこで本項では、貝山知弘氏が、同素材を採用した製品の實力をたっぷりレポートしている。ぜひともお楽しみいただきたい。

Text by 貝山知弘

Tomohiro Kaiyama

Photo by 田代法生



特別賞



FURUTECH

# GTX-D NCF(R)

ハイエンドグレード20A壁コンセント  
¥22,000(税別)

#### Specifications

●本体部：ナイロン+グラスファイバーにナノ単位の特殊セラミック/パウダー+カーボン/パウダーを一定比率で調合(静電気対策として新たに特殊素材NCF調合) ●カバー部：ポリカーボネート(NCF調合) ●電極部：純銅電極(刃受け部)と接触用加圧パネ(ステンレス)を独立 ●取り付けプレート：2mm厚のステンレス ●サイズ：104L×47.2W×28Hmm ●適応ワイヤー：10AWG(MAX) ●取り扱い：フルテック(株)

**画期的な手法と特殊素材の採用  
これまでにない製品が登場した**

フルテックのGTX-ID NCF(R)。これは従来不可能と言われていた問題を見事に解決した、画期的なコンセントだ。音質のことでだけ考えるのなら、コンセントとケーブルとの接触分には純銅のように抵抗値が少ないものがない。しかし、ケーブルをしっかり保持するには、接点部分はバネの力が強い燐青銅のような材料が好ましいが、反面で抵抗値が高く、音質的なロスが生じてしまう。ロスのない接触と、頑強な保持を要求すると、どちらかを犠牲にする必要があるのだ。これまでのコンセントの常識は「接点には強力なバネが必要」というものだった。

フルテックが考えたのは、いままでにはない画期的な手法であった。それは2ウェイの接触・保持である。ケーブルをしっかりと支える部分と、接点の部分で、それぞれ別の手段を採るという発想だ。この方法を取れば、接点にはロスのない純度の高い素材(例え

ば純銅)が使用でき、接触用の加圧バネには物理的に強い素材を用いることができる。これだけのことがなせいままで実現しなかったかと思う人もいるだろう。しかし、アイディアとか発明というものは、ちよつとした思想の転換を切っ掛けに実現するものだ。またGTX-ID NCF(R)の接点部分は接触面積が大きく、これはケーブルにとつても利点がある。差し込む部分であるブレードが研磨によつて傷つけられることがないのだ。

GTX-ID NCF(R)にはもうひとつ重大なポイントがある。本体と、カバー部の樹脂部分の静電気を排除するため、特殊素材NCF(ナノ・クリスタル・フォミュラー)を採用したことだ。細かく言えば、本体で使っているナイロン+グラスファイバー樹脂に、ナノ単位のセラミックパウダーとカーボンパウダーを一定比率で混合し、これらの相乗効果で制振効果を高めている。このコンセントでどこまで音が変わるのか? 私の試聴室での試

聴は、フルテックと共にこのコンセントを共同開発したアコースティックリヴァイブの電源ボックスRTP-4 absoluteで試聴を行なった。このボックスは1台にGTX-ID NCF(R)を2個取りつけてある。本製品を2台使い、アキュフェーズのセパレーター・プレーヤー、セパレート・アンプの電源を全て接続してみた。各機器への電源ケーブルはいままで使っていた製品をそのまま使っている。

**これまでに最大の音質向上効果  
微細な演奏音が聴こえるように**

驚くほどのサウンドが流れ出した。音の力感が違うし、クリアネスも大きく変わった。ポリウムは固定していたが、以前の電源より音量が大きく、締まりのいい力感に満ちたサウンドに変わったのだ。音のスピードも速くなっている。ディスクによつてはうつすらと聴こえていた歪みが姿を消し、いままで聴こえなかった微細な演奏音が聴こえるようになった。アキュフェーズの再生システムのス

ごさがフルに発揮されたという印象だ。電源の質の向上で音質が向上する現象は何度となく経験してきたが、今回の向上はこれまでのどんな向上よりレベルが高かった。改めて電気回路の接点の重要性が解ったことは、これからの私のオーディオのひとつの具体的な指針となっていくだろうと思う。GTX-ID NCF(R)と時を

同じにしてフルテックからは本体の樹脂部分にNCFを加えた製品群が発売されている。電源プラグFI-50 NCF(R)、FI-50M NCF(R)、ACインレットFI-06 NCF(R)、NCF(R)などだ。これらはまだ手に入れていないので紹介に留めるが、いずれテストを行い、その結果をご報告しようと思う。

**NCF採用の電源アクセサリ群**

高い静電効果を持つ静電気対策特殊素材NCFが採用されたフルテックの電源アクセサリ群は、壁コンセント以外にも多数登場している。同社最高峰のプラグFI-50シリーズやコストパフォーマンスに優れたインレットなど、自作派にとっては見逃すことのできないラインアップだ。さらなる進化を遂げたこれらの製品群も、ぜひチェックしておいて欲しい。



**FI-06 NCF(R)**  
ACインレット  
¥3,400(税別)



**FI-50 NCF(R)**  
**FI-50M NCF(R)**  
インレットプラグ/電源プラグ  
共に¥32,000(税別)

**私のオーディオのひとつの指針となっていく  
そう考えさせられるほどのサウンドが流れ出した**